

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

 タイトル 人・農地プラン

 J A 名 青森（青森県）

1 動機 (経緯)	全国の農業をめぐる状況をみると、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などで、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えている。 当 J A においても、組合員の減少が著しく今後の地域農業を支える担い手がいなければ集落・地域・農業自体が危ぶまれることから、国で進めている人・農地プランを利用し、地域のリーダーを育成するため関係機関と連携をして当 J A では青森市から業務委託をして平成 24 年度から事業を進めている。
2 概要	農業情勢は依然として、農業人口の減少と高齢化が進み、農業収入が伸び悩んでいることから、青森市では地域内の農業者に対し、地域農業の将来の見通し、地域農業の今後の方向性を集落・地域における話し合いを通じ地域リーダー等を育成していき、地域の農地を任せられる人を見出していく。
3 成果 (効果)	青森市管内（平内、蓬田、蟹田、今別除く） 平成 24 年度は、 参加地域 19 地域 中心経営体数 述べ 309 人（個人 171 名） 平成 25 年度は、 参加地域 19 地域 中心経営体数 述べ 425 人（個人 257 名）
4 今後の 予定（課題）	平成 26 年度も 8 月 20 日から 19 地域を対象に進めていく。 J A 組織内の連携と理解度が低いことから農業者の理解度が低い。